

科目	動物形態機能学（概論、形態機能）		
担当講師 北島眞実子 実務経験有 獣医師免許 大学卒業後動物病院に10年間勤務し獣医療に従事			
開講年次	授業形態	選択/必修	授業時間
動物看護、動物管理学科 1年次前期	講義	必修	30
<p>授業目標</p> <p>生体の成り立ち（細胞の基本構造のDNA等）体液等 動物の基本的体の構造、機能（解剖と整理）または自然界で生存していくために備わる様々な防御機能（皮膚や免疫機能等）について学ぶ</p> <p>授業概要</p> <p>恒常性を保つための構造機能（体液、体温等）についての基本的知識を学ぶ</p>			
<p>成績評価の方法</p> <p>成績評価の方法</p> <p>評価の基準は筆記試験による。また本科目受験には出席率が3分の2以上であることが必要。試験は80～100点がA評価、70～79がB評価、60～69までをC評価とし、60点未満は再試とする。再試においては80点以上を合格とし評価はCとなる。</p>			
<p>教材</p> <p>動物形態機能学（ファームプレス）</p>			
授業計画 毎週月曜日 2限目 10:50～12:20			
回	テーマ	授業内容	
1	生物の成り立ち	高校生物復讐、四大組織	
2	細胞の構造	細胞小器官とその働き、細胞分裂	
3		遺伝子、DNA、タンパク合成、細胞膜と体液	
4	神経組織	中枢神経と末梢神経、神経細胞	
5		情報伝達の仕組み、脳脊髄の構造	
6		自律神経、視覚、味覚、聴覚	
7	体の構造、呼吸器	骨格、筋肉、肺の構造と呼吸の仕組み	
8	消化器	消化器の構造と仕組み、肝臓、膵臓等	
9	血液	血液の種類と役割、免疫	
10	心臓	心臓の構造、拍動の仕組み等	
11	泌尿器	腎臓の構造、尿の育成	
12	生殖器	雄雌の生殖器、発情から分娩まで	
13	ホルモン	ホルモンの種類と役目	
14	予備	復習他	